

□令和4年8月24日（水）

□午後2時00分から

□寝屋川市役所議会棟

5階 第2委員会室

令和4年度第4回

寝屋川市社会教育委員会議

議案書

寝屋川市教育委員会

案件第 1 号

- ・ 社会教育部事業概要について
青少年課

案件第 2 号

- ・ その他

【事業別概要一覧】

青少年課

	事業名	意見・質問等	R 4 予算(円)	回答	再質問等
1	地域教育協議会活動推進事業	①各校区での取り組みの違いを教えてください。	4,800,000	各校区での代表的な取り組みといたしましては、あいさつ運動や校区パトロールがございます。 特徴的な取り組み例としまして、校区内にヒマワリの種を配布し、夏の時期に校区をヒマワリの花で彩りフォトコンテストや絵画コンクールを行う校区や、成人式を迎える新成人に対して、校区で集まることができる催し、農業・園芸体験を行う校区などがございます。	
2	学校支援地域本部事業	①各校区での取り組みの違いを教えてください。 ②学校教育を支援するボランティアの確保が課題だと思います。	3,159,000	①につきましては、学習支援活動（放課後等の学習支援、読み聞かせ）、部活指導、清掃活動、登下校安全指導、など、各中学校区の地域教育協議会に委託し、各中学校区の教育コミュニティの基盤整備をしております。 ②につきましては、当該中学校区に登録しているボランティア（無償）に依頼しており、ご指摘のとおりボランティアの確保は課題である事を認識しております。ボランティアの不足が生じないよう取り組んで参りたいと考えております。	
3	学校安全体制整備推進事業	①「子どもの安全見守り隊」の事業主体はボランティアかと思いますが、市の所管はどこになりますか。また、各地域の受け皿は地域、学校、PTA、どちらになりますか。 ②子どもの安全のために必要だと思います。	446,000	①につきましては、市の所管は、青少年課となります。 各地域の受け皿は、各小学校となります。 ②につきましては、今後も、地域と学校が連携し、取り組みを進めていきます。	●「子どもの安全見守り隊」について、きっちりした体制が望ましい。受け皿の学校が実態を把握しきれていないように感じる。 ➡組織化されていない件につきましては、各校区の実態を伺い改善に努めます。 ●主体及び責任の明確化が必要。 ●防犯カメラは何機設置していますか。 ➡約2,000機通学路等に設置しています。

【事業別概要一覧】

青少年課

	事業名	意見・質問等	R 4 予算(円)	回答	再質問等
4	家庭教育サポートチーム派遣事業	①家庭教育サポーターの人材確保とサポーター研修の充実を期待します。 ②様々な家庭、多様な成育環境があり、臨機応変な対応が求められるため、サポーターのスキルアップ、メンタルケアなどの必要性を感じています。また、幼稚園・保育所など他機関との連携などがスムーズに出来るといいと思います。	25,968,000	①と②につきましては、まとめて回答させていただきます。 サポーターの人材確保は、家庭教育学級「家庭教育支援者スキルアップ講習会」参加者の中から希望者を募り、選考のうえ実施しております。令和3年度は定員を超える方の応募をいただいております。 サポーターのスキルアップ等につきましては、研修やサポーター同士の報告会など実施し、全体のスキルアップやメンタルケアを図れるよう、引き続き行ってまいります。また、関係機関との連携につきましても、引き続き、円滑に連携が行えるよう取り組んでまいります。	
5	家庭教育学級事業	①講座への参加人数の拡大が求められる。 ②多くの方に参加してもらえるといいと思います。	905,000	①と②につきましては、まとめて回答させていただきます。 新型コロナウイルス感染症の影響で、各小学校で実施する家庭教育講座の開催が難しい状況がありますが、オンラインの活用も含めて開催方法を検討するとともに、多くの方に参加いただけるような講演内容となるよう、取り組んでまいりたいと考えております。	
6	ねやがわ子どもフォーラム事業	①多くの方に参加してもらえるといいと思います。	717,000	この2年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中止になっておりましたが、実行委員会と連携し、多くの方に参加いただけるような講演内容となるよう、取り組んでまいりたいと考えております。	
7	青少年リーダーの養成 (ユースクラブ) (中高生クラブ) (小学生クラブ)		2,018,000		

【事業別概要一覧】

青少年課

	事業名	意見・質問等	R 4 予算(円)	回答	再質問等
8	青年祭		1,537,000		
9	青少年の居場所 (スマイル・ハピネス)	①いい取り組みだと思います。スマイル、ハピネスが比較的近くにあるので寝屋川公園駅方面にもあるといいと思います。	21,394,000 (当初) 20,810,000 (6月補正) 584,000	市立青少年の居場所「ハピネス」について、市立こどもセンターが令和5年3月31日に閉鎖することに伴い、市立青少年の居場所「スマイル」に統合を行います。今後、居場所の在り方につきましては、検討してまいりたいと考えております。	
10	成人式	①出来るだけ多くの成人が会場に入り、式に参加できるよう2部制、各出身校で分かれて行うなどコロナ禍での対応のように行えるといいと思います。	3,601,000	令和3年度の成人式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前・午後の2部制での開催とさせていただきます。令和4年度におきましても、感染状況を鑑みて、開催方法を検討していききたいと考えております。	●成人年齢が18歳となったことに伴い、成人式の対応変更はありますか。 ■本市としては、20歳を対象として開催予定です。今後につきましては、北河内の動向を鑑みて検討してまいります。
11	放課後子供教室推進事業	①コロナ前は子どもの参加人数が8万人を超えていた時期があった。各小学校に設置する実行委員会委員の人材確保と実行委員会の企画力が課題です。 ②各校でどのような取り組みを行っているのかなどの情報交換の場、交流の場などがありますか。いい取り組みを各校で実施でき子どものためのよりよい居場所になることを願います。	45,385,000	①につきましては、新型コロナウイルス感染拡大のため、活動の自粛等の影響が考えられます。また、委員のご指摘のとおり、各実行委員会委員の人材確保や企画力の向上が課題と考え、青少年課といたしましても、各校と連携し、情報提供などを行いながら取り組んでまいります。 ②につきましては、各校の実行委員会間での各種取り組み内容や情報交換、交流の場等につきましては、昨今、コロナ禍の状況で開催には至っておりませんが、年1回から2回、青少年課と実行委員代表、コーディネーター、実行委員長などとの情報交換会を行っております。	

【事業別概要一覧】

青少年課

	事業名	意見・質問等	R 4 予算(円)	回答	再質問等
12	青少年指導員会支援事務	①どのように予算を使用されていますか。 ②幼、小、中の連携はとりやすいが、その先の高校、大学、専門学校または就職問題のハローワークなどとの連携をとれるようにしてはどうか。 ③青少年指導委員の活動拠点、相談を受ける為の場所はあるのでしょうか。	1,486,000	①につきましては、令和4年度予算の内訳は、青少年指導員（120名）への謝礼金1,320,000円、（1人11,000円）青少年指導員研修会講師謝礼100,000円、青少年指導員証印刷製本費15,000円、大阪府青少年指導員連絡協議会会費35,000円、北河内地区青少年指導関係者連絡協議会会費15,000円でございます。 ②につきましては、事務局といたしまして各種関係機関などと連携が図れるよう、今後検討してまいりたいと考えております。 ③につきましては、活動拠点といたしましては各中学校区でございます。相談を受ける為の場所につきましては、特定の場所は、ございません。	
13	P T A協議会支援事務		1,200,000		
14	青少年健全育成推進事業	①どのように予算を使用されていますか。	1,105,000	令和4年度予算の内訳は、青市青少年指導委員会への事業委託料1,100,000円、事業開催に係る保険料として5,000円でございます。	

【事業別概要一覧】

青少年課

	事業名	意見・質問等	R 4 予算(円)	回答	再質問等
15	留守家庭児童会児童健全育成事業	①留守家庭児童会は、具体的にどなたがされていますか。 ②児童の多様化に伴い、留守家庭児童会職員の人材確保が急務です。子どもの貧困、いじめ問題、障がいのある児童、外国籍の児童など様々な対応が求められている。そのためにも研修の充実を図ることも大事です。 ③昨年度に比べ予算が大きく減っていますが、その理由をお教えてください。 ④小学1年生の利用率がかなり高く、スペース、指導員の数、どちらも増やす必要があるように思います。改善の予定はありますか。 ⑤長期休業中に預けられる時間が早くなったと聞いているが、その理由と職員の確保はどうされているのか。また、個別対応が必要な子や対応に気を配らないといけない子が多いため職員が足りないという聞くが、今後増える予定はあるのか。	22,669,000	①につきましては、留守家庭児童会には放課後児童支援員（任期付職員）及び補助員（会計年度任用職員）が各児童会の利用児童数に応じて従事しています。 任期付き短時間勤務職員、会計年度職員 任期付き短時間勤務職員→5日、1日6時間 会計年度職員→5日、1日5時間 ②につきましては、人材確保につきましては、市広報誌・HP・就職情報誌への広告掲載など、様々な媒体を通じ、取り組んでいます。 また、児童の多様化に伴う対応につきましては、職場集合研修、障害児研修など行いスキルアップを行う中、対応しております。 （令和3年度は集合研修7回、障害児研修4回実施） ③につきましては、要因として、令和3年度に新保育料システム導入に向けた委託料の計上が無くなったものでございます。 ④につきましては、各学校の児童数に合わせて人員配置をおこないながら、必要な教室数につきましても、各学校と調整しながら教室の確保に努めております。 ⑤につきましては、留守家庭利用児童の保護者にアンケート調査を行った結果、早い受入時間が希望との意見が多く、令和2年度から、保護者のニーズにあわせ、8時からの受入れを7時30分に繰り上げ、職員間のシフト調整を行い対応しております。 また、職員配置の増加につきましては、利用児童者数や個別対応の必要を鑑み、対応してまいります。	
	中学部活の地域移行について	小野議長より資料提供			●人材不足の現状どのように確保していくか課題。 ●地の人以外でも社会参加しやすい環境づくりにより、人材確保に繋がるのではないかと。 ●平日と休日で指導者が変わる場合、統一的な指導でなければ混乱する恐れがある。